



松 明

(令和6年3月・4月号) 2024 vol.2



P2 令和5年度福島病院QCサークル活動発表会より

看護部だより

能登半島地震に係る広域看護師派遣

看護部 教育担当師長 五十嵐 大二

2024年1月1日に起きた能登半島地震から約3か月が経過しました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方へお見舞い申し上げます。国立病院機構では発災より、DMATや医療班を派遣し、活動してきました。

また、厚生労働省から被災医療機関の支援を目的とした、広域看護師派遣の要請があり、第6班に看護師長1名、第10班に副看護師長1名が、市立輪島病院（石川県輪島市）での看護支援業務に従事しました。

私が派遣された病棟では、入院している患者さんの清潔や保清ケア全般、入退院支援、ベッドサイドリハビリ、リアリティオリエンテーションによるせん妄の予防や改善に向けた関り、ADLの維持・拡大の支援、被災や今後への不安への心理的サポートを、他の支援看護師、病

院職員と連携して実施しました。また、支援看護師が派遣されていることで、自らも被災者でありながら頑張ってきた病院職員から、「休暇をとれるようになった」、「今後への不安を吐露できた」という言葉をかけていただきました。被災地域から、辛いを意味する方言の『ちきない』が少しでも減り、伝統と活気のある能登が復興されることを祈念しております。

支援看護師は国立病院機構だけではなく様々な組織から派遣されており、年齢や経験も多様でした。経験やアイデアを持ち寄り、一人ひとりの患者さんに向き合い、限られた資源のなかでよりよいケアを考え実践しました。

私自身にとっても貴重な経験であり、どのような環境にあっても、患者さんにより良い看護を届けることの大切さと楽しさを実感することができました。



本号のご案内

- 看護部だより 能登半島地震に係る広域看護師派遣 … 1
- 看護部だより 看護研究発表会 …………… 4
- 令和5年度福島病院QCサークル活動発表会 …………… 2
- 看護職員採用活動 …………… 4
- 療育だより 2024初詣 …………… 5
- 健康プラザ 便秘と便秘薬の話 …………… 5
- QCサークル活動 発表一覧…………… 2
- 職員紹介 人事のご案内 …………… 3
- QCサークル最優秀賞を受賞して…………… 3
- 外来担当医表 …………… 6

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

令和5年度福島病院QCサークル活動発表会

副院長 石井 勉

福島病院には、職員が自主的に集いチームを結成し各職場内外における解決の必要なテーマを選定して1年間を通して改善にむけて取り組むQCサークル活動があり十数年にわたり行われています。QCはクオリティ・コントロールの略語で、組織の『質』を職員の自己啓発によって『高め』合う活動です。今年も活動の総括である発表会を開催いたしました。令和5年度は11サークルが立ち上がり精力的に活動し、特に成果のあった4サークルが表彰を受けました。

最優秀賞は、検体検査の不備による患者さんへの負担を軽減することをめざしてマニュアルを刷新し勉強会に取り組んだ「翔んで検体不備 2003 検査科より愛をこめて 検体不備を減らそう」をテーマとした研究検査科が受賞しました。優秀賞は、処置伝票のチェック忘れを行動学的に基本から見直し勉強会を行うことで意識改革を推し進めた「ちょっとまって！処置伝いれた？私たち

の、大事なお仕事よ♥」脳神経外科病棟が受賞しました。優良賞は、栄養士が自室を出て病棟でスタッフと一緒に栄養管理や摂食についての時事的カンファランスを行うことで現場感覚での集団的な栄養管理を達成した「栄養士の病棟（準）常駐について」をテーマとした栄養管理室が受賞しました。審査員特別賞は、在宅にて医療的ケアを受けておられる患者さんが使用する医療物品の適切化を図ることに取り組んだ「加算に沿った在宅医療物品のお渡し」をテーマとした地域連携室と外来部門が受賞しました。

20年近く継続している当院のQCサークル活動は、職場での改善行動を自らの手で行うという風土が確実に院内に根付いてきております。小さな事からこつこつと改善し、ひいては地域医療に還元することを目標にしたチャレンジ精神にあふれる病院を目指して今後も活動をしてゆきます。



●QCサークル活動 発表一覧

当院の令和5年度のQCサークル活動発表は11題でした、上位3チームは国立病院機構本部のQC活動奨励表彰に推薦されます。本部審査で最優秀賞・特別優秀賞・優秀賞に輝いたサークルは本部にて表彰され、国立病院総合医学会で発表となります。（管理課 庶務係 玉川詩織）

部署・サークル名	テーマ・タイトル	リーダー	区分	順位
1病棟 ~財布の紐と絆は固いナースの集い~	ちょっとまって！処置伝いれた？私たちの、大事なお仕事よ♥	鈴木 めぐみ	問	2位
3病棟 爪をきれいにしたいQCチーム	患者様の爪をきれいにしたい	吉田 真樹子	問	
5病棟	みんなの安全守り隊!! ~コードを床につけま線~	酒井 真紀子	問	
とにかく明るい6病棟	Don't worry, I'll be back on time! ~安心して下さい、帰りますよ!~	大和田 沙織	問	
外来	洗浄、滅菌物依頼手順の統一化	坪井 恵美子	課	
リハビリテーション科	物品管理について ~誰が使っているのか、どこにあるのか見える化する~	三瓶 祐里菜	問	
研究検査科 タイムパフォーマンスチーム	翔んで検体不備2023 ~検査科より愛をこめて 検体不備を減らそう~	梅原 さや香	問	1位
新しい病院の栄養士ズ	栄養士の病棟（準）常駐について	前田 啓希	課	3位
新たにトロミの提供を開始したら食事の安全性が向上し、病棟スタッフの業務も少し楽になったようです。	学会分類2021に合わせた食形態の提供	牧田 恵美	課	
療育指導室 The first ~ SHIDOUHITSU ~	反応の評価を制する者は支援を制す☆ ~諦めたらそこで試合終了ですよ~	長沼 真歩	課	
多職種混合チーム 「ちはやふる」で「うちやぶる（打破）」	19年来の障壁に立ち向かう!! ~加算に沿った在宅医療物品のお渡し~	降矢 美恵	課	特別賞

QCサークル最優秀賞を受賞して

サークル名 「タイムパフォーマンスチーム」 研究検査科 臨床検査技師 梅原 さや香

このたび、令和5年度 福島病院 QC サークル活動発表会において、最優秀賞を受賞しました。

今回の活動にあたっては、多くの方々にご協力を頂くことで目標を達成することができました。この取り組みがこのような形で評価されたことを大変光栄に思います。この場を借りて、活動にご協力いただいた看護部はじめ多くの皆様に深く御礼申し上げます。

検査科では、名前なし検体や採取容器間違いによる検体不備の対応で検査業務が滞り、結果報告に遅れが生じるため、これらを減らし、検体検査業務の効率化・業務負担軽減を目標に活動してきました。

今年は「検体検査一覧」という冊子を作成し、検体採取時や、実際に検査室へ検体を提出する際、迷った時に確認できる環境を整えました。検体不備件数は半減し、検体採取現場からは「とても助かっています」「写真つきで見やすいです」との声をいただき、とても嬉しく思います。

検体検査業務が効率化したため、超音波検査や他の生理検査などに充てる時間を確保できるようになりました。

「タイムパフォーマンスチーム」というサークル名のもと、これからも効率よく高い満足度の仕事ができるようチャレンジし、地域医療に貢献していきたいと思えます。



●テーマ・タイトル「翔んで検体不備2023 ～検査科より愛をこめて 検体不備を減らそう～」



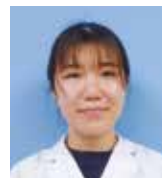
職員紹介 人事のご案内



臨床工学技士（採用）
佐伯 明史（さえき あきふみ）

- 出身地：岩手県花巻市
- 所属：臨床工学室
- 趣味：長距離運転、スポーツ観戦（バスケ・クライミング）

●コメント：
昨年11月より、臨床工学技士として入職しました佐伯明史と申します。出身は岩手県花巻市。福島は12年目になります。当院は管理する人工呼吸器の数も多く、学ぶ事もまだまだ沢山ありますが、今までの経験を生かしながら患者様の医療に貢献できるよう頑張っていきたいと思えます。何卒宜しくお願い致します！！



栄養士（採用）
遠藤 美帆（えんどう みほ）

- 出身地：山形県
- 所属：栄養管理室
- 趣味：旅行

●コメント：
2月から福島病院に入職しました。好きな食べ物はラーメンです！すれ違ったらおすすめのお店教えてください。至らない点が多くありますが、精一杯頑張ります。ご指導のほどよろしくお願いたします。

3月6日に令和5年度看護研究発表会が開催されました。日々の看護や後輩育成のあり方等様々な課題について、約1年かけて取り組んだ成果が4題発表されました。

今年度は看護提供方式についての検討や口腔ケアに関すること、言語的なコミュニケーションの難しい患者思いを捉えるために看護師が着目していること、重症心身障がい児者のケアに関して困難と感じていることを明らかにする等多様なテーマであり、患者のアセスメント力や後輩指導につながる研究でした。冬の忘れ物のような降雪の影響で残念ながらリモートとなりましたが、昨年度から引き続きアドバイザーを引き受けていただいでい

る大堀先生からは、「日々の看護実践のなかで、看護原点ともいえる患者に関心を寄せることを大切にしている。患者への愛情が感じられる。」とうれしいコメントをいただきました。

また、キャリアラダー研修レベルⅡ・Ⅲでは、計28題のケーススタディの発表が行われました。今年度の看護研究やケーススタディは、令和6年度に院外の様々な学会の場での発表に繋がります。院内で研究や看護成果を共有することはもちろんですが、学会での発表や意見交換、聴講を通し、よりよい看護の実践につながることを期待します。



令和7年度看護職員採用にむけて採用活動が始まりました。

2月23日に仙台国際センターにおいて、看護大学や看護専門学校の学生を対象とした説明会は出展病院65施設、来場学生700名弱におよびました。集合型・対面式での採用活動は、看護学生と直接話せるチャンスなので、青を基調とした福島病院のブース作りをして学生を迎えました。その中でも福島病院の重症心身障がい児(者)病棟や神経難病等の慢性期看護に興味をもってブースを訪れた学生に当院の教育プログラムや新人看護師の一日、福利厚生、給与等丁寧に説明しました。中にはすごく興味を示し、積極的に質問してくる学生もいました。

2月25日には宇都宮において採用活動を行いました。初めて東北から出て北関東で出展しました。隣県という

こともあり、意外と近場であることをアピールしました。

3月には郡山、山形と採用活動をし、福島病院の将来を見据えた有望な看護師を獲得したいと思います。



暦の上も春となり、梅のつぼみもふくらみ春を感じる頃となりました。

重症心身障がい児（者）病棟では新年明けましておめでとうという思いと、これからも健やかに過ごせるよう祈念し、初詣を行いました。

病棟に鳥居が設置されると普段見慣れない鳥居に興味深く見る患者様や、力強く鈴緒を持つ患者様もおり様々な反応がみられ、初詣ができるとスタッフも喜び、みなさん鳥居の前に立ち鈴緒を持って鈴を鳴らして参拝することで新年を迎えたという気持ちになられたのではないかと思います。

参拝後は患者様一人ひとりおみくじを引いて「大吉でしたー」「中吉でしたね」と喜んだり驚いたりと盛り上がる場面もあり、スタッフと患者様が同じ気持ちを共有できたのかもしれない。どの患者様にとっても穏やかに過ごされて最良の年となってほしいとスタッフ一同

願っております。

辰年である 2024 年も始まったばかりです！！

空高く昇る龍のように気持ちを弾ませて上昇気（龍）にのって過ごしていきましょう！！

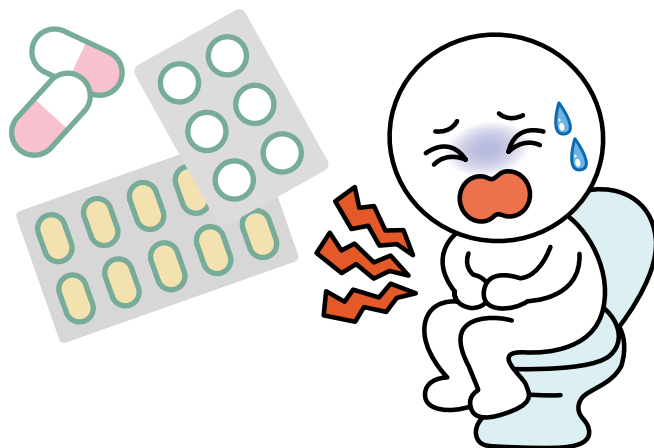


快適な生活を送るためには、食事・快便・快眠の三要素が重要です。中でも便秘は日常生活や心理的に大きな影響を及ぼすとされています。便秘の改善への第一歩は日頃のバランスのとれた食事を心がけ、食物繊維を積極的に摂るといいでしょう。それでも効果がみられない場合に、便秘薬の使用を考えてみてはいかがでしょうか。

便秘薬には大きく分けて、腸内の水分を調節して便を軟らかくする「浸透圧性下剤」と、直接腸の運動を促す「刺激性下剤」の2種類があります。

代表的なものとして、浸透圧性下剤は「酸化マグネシウム」、刺激性下剤は「センナ」が挙げられます。市販薬としても馴染みがある成分ですが、酸化マグネシウムは使いすぎや腎臓の働きが落ちると「高マグネシウム血症」による吐き気やだるさなどの症状が現れることがあります。また、センナは耐性（薬に対する抵抗）が発生し、薬を増やさないと腸が運動しにくくなることがあります。そのため、いずれの薬も使いすぎには注意が必要です。

その他にも「便が硬い」「お腹が張る」などの症状に応じて、治療に適した薬を使うことがあります。便秘でお悩みの方がいらっしゃいましたら、薬剤師へお気軽にご相談ください。



● 外来担当医表 ●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【令和6年5月1日現在】

区	分	月	火	水	木	金
内科	1	安田千尋	安田千尋	安田千尋		
内科	2	佐藤由紀夫 (第1・3)				
内視鏡検査					安田千尋	
脳神経内科		伊藤英一	杉浦嘉泰	伊藤英一		杉浦嘉泰
小児科		福島医大	石井勉 氏家二郎 (第2・4)	石井勉		河原田勉
専門外来 (発達小児クリニック)			石井勉 氏家二郎 (第2・4)			河原田勉
専門外来 (小児神経外来)				石井希代子		
専門外来 (小児循環器外来)				桃井伸緒 (第2)		
小児専門外来		予防接種 (午後)				
整形外科		古川浩三郎		古川浩三郎		古川浩三郎
小児外科					清水裕史	
脳神経外科			福島医大 (第2)			

● 完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。

● 受付時間は午前8:30～11:00までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。

● 外来担当医表は令和6年5月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認ください。

● 専用ダイヤルをご利用ください ●

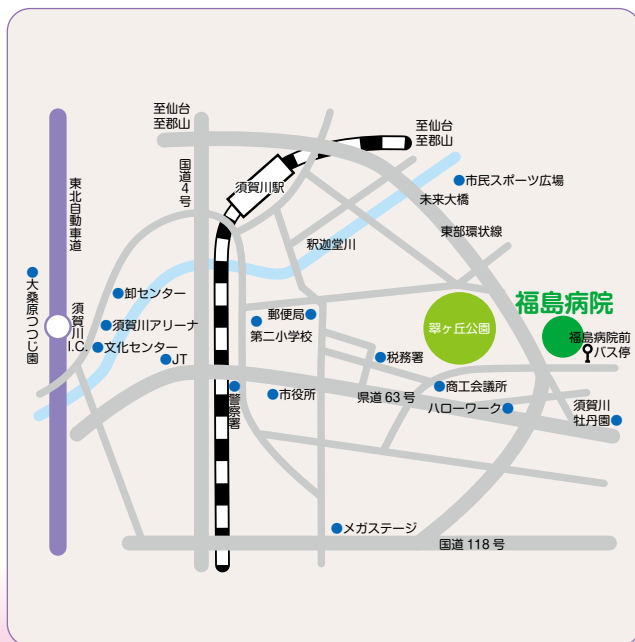
診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 9:00～17:00)

診療の予約・変更等 (月～金 15:00～17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

● 編集後記 ●

2024年は元日の能登半島地震、2日に航空機の事故と痛ましいニュースから始まりました。災害や事故により亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。今冬は暖冬で早くも梅や桜の便りがきこえてきています。被災された方、心を痛めた方の心に少しでも早く希望の花が咲きますよう、組織、個人のできる支援を続けていきたいですね。(I・D)



National Hospital Organization Fukushima National Hospital

独立行政法人国立病院機構 福島病院

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
☎0248-75-2131 (代表)

<https://fukushima.hosp.go.jp/>